

複合医療（安談：メンタルカウンセリング）

高山 智（タカヤマ サトシ）先生



ガイダンスカウンセラー（認定 No.12020850）

認定心理士（認定 No.235） 学校心理士（認定 No.98242）

心理学検定1級 公認心理士 一般社団法人日本複合医療臨床研究会 正会員

●サロン担当日 火曜日、第1第3月曜（夕・夜）

1988年 東京学芸大学大学院教育学部教育学研究科教育学修士
（修士論文：本音と建前の心理学的構造の分析）

1992年 ヤマハ音楽振興会音楽研究所心理研究員

1995年 港区南青山に、青山学芸心理（Aoyama Psychological Promotion）を設立

1996年 ㈱青山学芸心理設立、代表取締役就任。カウンセリングの和語として「安談」を商標登録。

栄光学園の学校安談手受託（2009年度末迄）

2002年 神奈川県私立学校初任者研修会講（2006年度迄）横浜雙葉学園の学校安談手受託（2009年度迄）

2004年 認定心理士会評議員。

2005年 社会福祉法人みきの会評議員（2007年度迄）アレセイア湘南の学校安談手受託（2014年度迄）

清泉小学校の学校安談手受託（現在継続中）

2006年 せりかわ内科クリニックの相談室業務受託（2020年度迄）

2013年 岩崎学園の学校安談手派遣業務受託（現在継続中）

2014年 渋谷コアクリニックにて関野一心療内科医と連携しメンタルヘルスの安談開始（現在継続中）

2021年 一般社団法人日本複合医療臨床研究会正会員就任。

2023年 WellBeingGINZAのメンタルヘルス部門担当として副院長就任。

人間関係におけるコミュニケーション・スキルの向上を目標に「安談」というカウンセリング手法の第一人者。安談が人間関係に効果があるのは、臨床心理学的な学説のみならず、社会心理学的なコミュニケーション論の観点をもち、さらに、日本人特有の家制度や文化論を背景にしているからである。とくに、安談によって、社会的な折り合い（social accommodation）がつくところが一番大きな実績がある。

現象的には、その人に合った「道」が見つけれられるようになり、そこで「楽になる」ところが特徴である。また、弊社が開発している家族樹形図療法（Family Tree Therapy）は、日本の心理的な社会の特徴を利用した貴重なセラピーと言える。

高山先生が担当させていただく主なサービス



● メンタルヘルスカウンセリング（安談）

カウンセリング 60分/16,500円（税込）

フォローアップ 30分/ 6,600円（税込）

遠隔カウンセリング（ネット・電話） 30分/11,000円（税込）

私たちはカウンセリング「安談」と呼んでいます。

欧米から輸入された「カウンセリング」という言葉は、あたかも相談することでカウンセラーから「何かを得られる」と勘違い（コンサルタント）したり、カウンセラーが「いい展望を示唆してくれる」と期待（占い）する傾向が見られるので、私たちは日本人にあった「心安らかに談話する」という気持を込めて「安談」と呼んでいます。

安談の最終目標は「**社会的な折り合いをつける**」ことです。

「自分の気持ちをよく知る事で、他人の気持ちも理解できるようになり、その結果、あたたかい人々の中で楽に生活出来る様になる」事が一つの目標で、一方的な考え方を押し付けたり、叱責したり、変化することをせかしたりせず「社会的な折り合いをつける」方法を相談者と共に考えます。とても安心して話の出来る世界が「安談」です。